



新キャンパスがつくる 私たちの未来

OTEMON GAKUIN
SENIOR HIGH SCHOOL STUDENTS &
UNIVERSITY STUDENTS



「茨木総持寺キャンパス」の学校生活が、いよいよスタートしました。この未来型のキャンパスで、どんな状況が生まれているのでしょうか。同じ敷地で学ぶ追大生と追高生が語り合ってくれました。

QUESTION
新キャンパスに来て
どんなことを感じていますか？

立石 新キャンパスで個人的に気に入っているのは、ディスカバリー・プロムナードです。廊下に書棚とカウンターが設置されていて、気になった本をその場で読めます。読みたい本を探すというよりは、廊下を歩いているときに目に付いた本が、新たな興味を引き出してくれるという感じです。

高田 私は経営学部なので普段は安威キャンパスにいます。今日初めて来て、おしゃれな空間というのが第一印象です。学校に来たいと思わせる雰囲気がありますね。

川越 勉強の仕方も変わりましたよ。高校の校舎は、教室の仕切りが可動式なので、2クラス合同で授業ができます。2教室を自由に行き来できて、隣のクラスの生徒と知識をシェアできるんです。

川上 全館Wi-Fi対応というのも魅力です。私のクラスは全員iPadを持っているのですが、前の校舎には特定の教室にしかWi-Fi環境がありませんでした。このキャンパスでは、いつでもどこでもiPadで英単語などをすぐに調べられます。

川越 先生との距離もより近くなりました。各階にTeacher Stationがあり、放課後でも各教科の先生に気軽に質問できるようになりました。また、Teacher Stationにはたくさんの本が並んでいて、先生を待つときには本を読んで過ごせます。

川上 そうですね。大学でも本に触れる機会が多いようですが、高校もいたると



ころに図書があり、本にも先生にも接する機会が増えています。

QUESTION
皆さんのが取り組んでいる
学びや活動を教えてください

立石 地域創造学部といえば、フィールドワークです。商店街に出向いて店主の方にインタビューするなど、実社会を学びの場にしています。

高田 私は学友会追風の本部役員として、総務事務チームに参加させていただいている。クラブ・サークルに入っていないので、授業とアルバイトだけの大学生生活にしないために追風に加わりました。

川越 僕は生徒会役員を務めています。生徒会として始めたのが朝の挨拶運動です。挨拶を通じて生徒間の壁をなくし、校内を明るくしたいと思っています。

川上 いい取り組みだと思っています

よ。こちらも挨拶を返すし、気持ちよく朝を迎えてくれています。



立石 そういう意識は大事だと思います。フィールドワークに出て実感しているのは、まちづくりの根本は人のつながりをどう築くかということ。商店街のような小さな経済圏はものの消費だけではなく、人とのつながりで成立しています。

高田 私はビジネス心理のゼミに参加しているのですが、今後フィールドワークが始まっています。1,000人もの人たちに調査を行う予定です。

川越 大学生では専門的なことができてより一層楽しそうですね。

高田 追大には海外に出るチャンスも多くありますよ。私は海外インターンシップに参加したいと思っています。2年のうちに行くつもりです。

立石 大学側がそういう情報をどんどん学生に発信してくれるんです。きっかけがすごくある大学だと思います。

川上 高校にも同じ状況があります。今年の1月、CMA(Change Maker Awards)という全国英語プレゼン大会に出場しました。教室に告知があり、先生からも声を掛けていただいたのが参加のきっかけです。自分たちがChangeしたいことを英語でプレゼンする大会で、全国120校がエントリーしたなか、私たちのチームは20校だけが進める本大会に出場できました。

立石 それはすごい。結果は？



川上 入賞とはいませんでしたが、結果以上に得たものが大きく、本当に貴重な体験でした。本大会は中高生のレベルではありませんでした。学外に飛び出してみたことで、こんなハイレベルな人たちがいること知り、刺激になりました。

立石 校外に出ると、価値感をくつがえされる経験ができますよね。

QUESTION
2019年11月開催の
合同学園祭への意気込みは？

高田 2019年11月に開催される学園祭は、大学と中高合同での実施が決まりました。もちろん私のいる安威キャンパスの学生も一緒に。テーマは「万博」ということです。大学ではゼミやクラブ単位で模擬店を出すので、そこで大学生が一生懸命に働く姿をお見せしたいと思います。



立石 フィールドワークの話を高校に発信して、皆さんの反応を聞きたいですね。

川上 合同開催の話を聞いたときは驚きましたし、今からワクワクしています。バザーや模擬店も私たちはまだ高校生レベル。大学生のノウハウを参考にすれば追高のレベルアップにつながります。高校だけの学園祭にはない発見がきっとあるはずです。

川越 学生生活のイメージもわくし、勉強のモチベーション向上につながるかもしれません。

立石 大学側のメリットも考えられますよ。大学生になると学園祭への参加意識に温度差が出る。でも高校生は全員が一体になって参加するでしょう。大学生も高校生に触発される形で、意識を高められる機会にできればいいのではないでしょうか。



QUESTION
今後、新キャンパスで
やってみたいことは？

川越 今、生徒会役員で新キャンパスでしかできないことをしようと話し合っている最中です。具体的な内容はこれから詰めていきますが、以前追高がテレビ番組に取り上げられたことがあります。新キャンパスというトピックがありますから、そのようなメディア戦略も先生と相談しながら考えていきたいと思います。

川上 高校3年生なので、現在受験生という立場です。それでも、こちらへ来てから過剰な緊張感を持つことなく勉強できています。アレンジ可能な教室や先生との距離の近さなど、新キャンパスの開放的な雰囲気が関係しているのだと思います。楽しく勉強して、いい結果を出します。

高田 追風役員として、追大の2キャンパスのつながりを強化していくことにも取り組んでいく必要があると思います。上位学年になったらそのための施策を提案できるように日頃から2キャンパスをしっかり観察していきます。

立石 フィールドワークで重要なのはその後のプレゼン。そこで他のゼミ生や先生から自分にない視点をもらうことで成長していくので、議論もプレゼンも活発にできるこの環境を十分に活かしたいと思います。それと、キャンパスの使い方を見いだしていくのは自分たち自身です。皆で、新キャンパスとともに成長していきましょう。